

平成 26 年度 第 3 回理事会 議事録

開催日時：平成 26 年 8 月 8 日 18:30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：兼子、諏訪、浅野、藤井、柴、帖佐、松浦、関、大西、高崎、可児、
鈴木満、山岸、和田、多和田、近藤、鈴木敦、白井、森本、渡辺、太田

欠席者：森、武藤、青木

議長：兼子 徹

議事録署名人：藤井 泰三

1. 日臨技より

・平成 26 年度 全国「検査と健康展」開催に向けてのお知らせが白井理事より報告がありました。日臨技より、本事業は次年度以降も進めていく予定で、すべての都道府県が技師会主催で「検査と健康展」を開催し、臨床検査技師のアピールを行うと言う通達がありました。検査と健康展の事業は、本来岐阜県技師会が主催で行わなければならないが、ハードルが高くて今年ではできない。そのため、岐阜市が行う岐阜県健康まつりを代替えとし、共催で行う事となった。補助金は降りないが、日臨技は共催でも良いとのことで、日臨技へ提出はしました。今後は、技師会主催で行える様に、知恵を絞って行なって行きたい。また、公益事業として、癌とエイズの予防対策事業の助成なくなったと報告があった。

・会費の送金がありました。

平成 26 年度会費	10,000 円×14 名=140,000 円
平成 26 年度入会金	500 円×12 名=6,000 円
送金合計額	146,000 円

・平成 26 年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金がありました。

2014 年 6 月 28 日	岐臨技血液部門研修会	50,000 円
2014 年 7 月 12 日	第 2 回輸血部門研修会	50,000 円
2014 年 7 月 6 日	岐臨技病理・細胞診部門研修会	50,000 円
送金合計額		150,000 円

・「支部学術部門委員候補者届出書」の変更及び提出について

日臨技より支部学術部門委員候補者届出書の書式の変更があった。既に登録されている都道府県技師会については、再提出する必要は無い。

近藤理事より臨床生理部門が循環器生理、神経生理、超音波生理の 3 つに分かれるとの報告がありました。

・「地域ニューリーダー育成講習会」の受講申請及び推薦について

次世代の人材育成を目的とする、地域ニューリーダー育成講習会に各都道府県1名を会長が推薦する。30代後半～40代で、技師会の活動を行っている人から選出したほうが良いとの意見があったため、鈴木敦理事と浅野敦理事で話し合っ
て決める事となった。

日時：平成26年10月25(土)～27日(月)

場所：晴海グランドホテル

2. 各地区報告

飛騨地区

・秋季拡大研修会について

秋季拡大研修会について諏訪副会長から内容と予算について報告があった。

日時：平成26年11月23日 9時～16時

会場：下呂市交流会館 1階 マルチスタジオ

講演のテーマは貧血になっているため、血液で鶴見 寿先生、輸血で兼村信弘先生に講師をお願いしました。ランチョンセミナーでは、血液でシスメックス株式会社、輸血でカイノス株式会社が行う予定です。市民公開講座として高山市史研鑽委員の田中彰先生に伊能忠敬下呂来訪200年についての講演との報告がありました。また秋季拡大研修会の予算案については、参加費1,000円、会場費47,000円、講師料100,000円(教授5万、講師3万、一般2万)、昼食代1,000円×参加人数で承認されました。

・平成26年度 第25回高山市市民健康まつりについて

第25回高山市市民健康まつりについて諏訪副会長より内容と予算について報告があった。

開催日：平成26年10月5日(日) 8:30～15:00

場所：高山市保健センター

内容：血管年齢測定(2台)、骨密度測定(1台)

実行委員：久美愛厚生病院 山岸 要範 先生

予算案として、血管年齢測定機器64,800円、骨密度測定機器21,600円など、合計127,600円で承認されました。

岐阜地区

・第35回健康まつりについて

第35回健康まつりについて太田理事より予算案について報告があった。

日時：平成26年11月2日

会場：岐阜市文化センター

血管年齢測定機器レンタル料32,400円、尿検査機器メンテナンス料30,000円消

耗品①42,000 円、消耗品②77,177 円、食卓費 40,000 円、日当 35,000 円、合計 224,177 円の予算案について、承認されました。

西濃地区

- ・ 県学会について揖斐厚生病院の関理事より報告があった。

日時：平成 27 年 3 月 22 日（日）

場所：大垣市情報工房

学会長：石郷先生（大垣市民病院）

実行委員長：浅野先生（大垣市民病院）

事務局：関先生（揖斐厚生病院）

内容として、教育講演、ランチョンセミナー、市民公開講座について計画中。ランチョンセミナーについては検討中。市民公開講座は、竹中半兵衛の生涯を予定中。

- ・ 西濃地区より平成 26 年度大垣市健康広場予算案について

血管年齢測定機器レンタル料 30,000 円、骨密度測定機器は無償、その他合計 68,500 円の予算案の説明があり承認されました。

東濃地区

- ・ 健康まつりの申請が後からされたので、早めに地区の理事を通して申請をする。

中濃地区

- ・ 高崎理事より健康のイベントは、積極的に行うべきかどうか質問があった。

臼井理事より技師会の存続の趣旨の中で、地域の健康について積極的に参加すると、どこかに書いてあったと意見があった。ただし、どこまで参加していいか難しい所があると会長の意見もあった。

高崎理事から今後健康イベントで血管年齢測定を行なう時は、日程が合えば貸出をしますとの発言があった。

3. 学術部報告

- ・ 一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会の部門長・副部門長・部門員の承認のお願いがあり、承認された。会長より染色体・遺伝子部門が石郷潮美技師のみで大丈夫かとの意見があったが、今後の課題とした。また森本理事より部門員の数に違いがあるが、定員はあるのかと質問があったが、定員はないとの回答があった。

- ・ 新人サポート研修会決算書について。

新人サポート研修会が平成 26 年 7 月 20 日、岐阜医療科学大学で行われました。

参加人数は、一般会員 80 名、学生 17 名、合計 97 名との報告があった。

新人サポート研修会の決算書について審議のお願いがあった。

- ・ 一般社団法人富山県臨床検査技師会より一般演題座長候補者（生理 2 名、微生物 1 名、輸血 1 名、血液 1 名、一般 1 名、病理 1 名）推薦の依頼がありました。

生理検査は野久謙先生と高木明美先生、微生物は中山麻美先生、輸血は八木良仁先生、血液は渡辺宣典先生、一般古池美奈子先生、病理は浅野敦先生の合計 7 名が推

薦され、承認されました。

- ・平成 26 年度岐臨技研修会の案内について。日時：平成 26 年 10 月 18 日（土）、場所：岐阜大学医学部記念会館、内容：日臨技の今を知る、講師：横地 常広先生を外部講師として招いて行なう報告があった。岐阜大学で連続して技師会の行事が行われ、岐阜大学にしっかりした話が伝わってないため場所に関しては変更があるかもしれないとの報告があった。また、外部講師における講演研修会の目的についても報告があった。
- ・平成 26 年度日臨技、岐阜県臨床検査技師会主催「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」の最終的なカリキュラムについて説明があった。また受講生募集についての説明があった。
- ・生涯教育等に関する連絡事項について。
日臨技会員による研修会事前参加登録方法を会員専用ページの運用ガイドラインに掲載したと説明があった。
支部研修会に関するマニュアルを会員専用ページの運用ガイドに掲載したと説明があった。
平成 27 年度生涯教育推進研修会の助成は、研修会毎に 2 万円及び参加人数×500 円（最高 5 万円）、最大で 20 研修会までの助成と説明があった。

4. 精度管理事業部報告

- ・多和田理事より岐臨技精度管理について説明があった。岐臨技精度管理参加施設は 70 施設で、昨年より 2 施設減であった。今年からアルフレッサー日建さんに出入りのある参加してない施設に参加の募集をお願いしたが、ほとんど効果がなかった。参加費を下げ（昨年より 148,000 円減収）、問屋さんにも協力をしてもらっても参加施設が増えず、今後増える見込みがないとの報告があったが、もう 2~3 年続けて効果を見てくださるとの意見があった。資料別検査の参加にはほとんど変動がなかった。
- ・生理検査の問題が 19 題から 16 題に減少したとの報告があった。
- ・8 月 24 日に資料発送、9 月 8 日解答締切り、その後 1 週間ぐらいで結果を見えるようにするとの報告があった。
- ・PDF の見積書とか請求書に使う公印をするのに 5 万円かかり来年度に行うかどうか検討をする。以上の事に関して認を得た。

5. 広報宣伝部報告

- ・森本理事より岐臨技会報について報告がありました。新会長の就任の挨拶、役員退任の挨拶を載せる予定でいたが、前会長に催促をしてお願いしたが、忙しくてなかなか書けないとの返事が有り、締切りギリギリまで待ったが、退任の挨拶の文章が来なかったため、載せることができないとの報告があり、各理事に理解を求めた。そして 8 月 20 日発送に間に合うように修正をするとの報告があった。

- ・森本理事よりホームページ委員会を今後北村前会長がホームページ委員長として行うのか、ホームページ委員としてか、あるいは一会員として協力し参加するののかとの質問があった。今後はホームページ委員会で決めた事で行うことにする。本日理事会が終了後第1回ホームページ委員会を開催することになった。
- ・森本理事よりホームページを運用する会社との契約書がないため株式会社ディツクナレッジシステムより取り寄せたが、仮契約と、本契約の書類が送られて来たが、内容がよく理解できない契約であったとの意見があった。会員から会費をもらって運用している以上、契約内容と支払い金額について説明ができればならないとの意見があり、今後は契約の経緯についてははっきりさせていく事となった。
- ・近藤理事より技師会のホームページは、当初北村前会長が個人のサーバーで行っていて、サーバーの容量に余裕があるため、学術のカレンダーを前会長のサーバーに移行し、その後株式会社ディツクナレッジシステムに移行した経緯を説明された。
- ・運用についてレイアウトなどの変更などは、お金が発生するが、頻回に更新する所はレスポンスを良くするために自己責任で、無料で自由に更新できるようにアクセスコードを貰う様交渉をして行く事となった。また、今後委員が変わっても良い様にアクセスコードはホームページ委員会が持つ事が良いとの意見があった。

6. 法人対応部報告

- ・鈴木理事より、新理事の就任承諾書の書類が揃ったため法務局に申請の手続きをする予定との報告があった。
- ・県の医療整備課に代表理事、会長の交代手続きと、法務局に代表理事の変更手続きをして終われるとの報告があった。

7. その他


- ・組織図について

会員名簿を発行しなければならない。会員の名簿と学術の部門員はできているので、あとは組織図があれば名簿ができるとのことでした。

組織図は庶務部と森本理事で行うこととなった。

今後組織図の変更する所があれば、柔軟に対応して行き、とりあえず名簿を早急に発行する事となった。

会長 弟子 徹 

監事 渡辺 新司 

監事 太田 義和 